

# 令和元年度第3回障害者雇用促進プロジェクトチーム (発言要旨)

日 時：令和2年2月10日（月）午前10時～11時45分  
会 場：障害福祉サービス事業所 かざぐるま  
参加者：委員15名全員、オブザーバー2名、障害福祉サービス事業所かざぐるま職員2名

## 1 開会

## 2 あいさつ

### (1) 労働政策課長 高澤 延之

本日は、令和元年度第3回障害者雇用促進プロジェクトチームに御参加いただき、感謝申し上げます。また、社会福祉法人愛のはぐるま会 かざぐるまの職員の皆様に就労支援の取組説明や施設内の見学に御協力いただくことを、心より御礼申し上げます。

今年度のプロジェクトチームも今回が最後の開催となる。障害者テレワークの促進や障害者就労支援施設利用者の一般就労への送り出し強化についてに検討してきたが、皆様に御意見、御議論いただいた結果については、来年度の県事業に反映させるなど、障害者雇用を促進する成果に繋げてまいりたい。

委員の皆様からは忌憚のない御意見をいただき、実効性のある施策の推進を図ってまいりたい。

## 3 議事

### (1) かざぐるま概要説明及び施設内見学

【かざぐるま概要説明「移行定員ゼロを目指して！」】（かざぐるま 大澤管理者、宮下就労支援員）

- ・平成28年4月に就労移行支援事業所を立ち上げ。現在までの就職者は16名。
- ・身だしなみチェックシートなどを施設利用者に記入してもらうことで、自身の成長の度合いを見える化し、成長を促している。
- ・定期的に就職学習会を実施（就職にあたっての服装・メイク、スマホの使い方など）。

#### 【施設内見学】

- ・就労移行支援事業所、就労継続支援B型事業所、自立訓練事業所での各種作業の様子を見学。

### (2) 令和2年度障害者雇用関連予算案について ※前回からの変更箇所等のみ記載

#### ア 労働政策課

【変更箇所なし】

#### イ 障害政策課

「障害者就労連携プロジェクト」については、前回のプロジェクトチームで他課でも同様の研修会、交流会を行っているのではとのご指摘をいただいたので、関係課と事前に調整していきたい。

#### ウ 農業構造政策課

【変更箇所なし】

## エ 産業人材育成課

【変更箇所なし】

## オ 特別支援教育課

- ・職場体験ファーストステップ事業については、前回のプロジェクトチーム時点では来年度継続するか否か未定であったが、引き続き実施することになった。

### 【質疑等】

(竹内座長)

- ・来年度のぐんまグッジョブフェアの開催会場、時期等は決まっているか。

(労働政策課)

- ・今年度と同様の会場、時期で調整している。

(真坂委員)

- ・YouTubeに掲載されているグッジョブフェアの動画を見たが、再生回数が少ない。関心を持ってもらうことが大事なので、周知の仕方に工夫が必要。県が発行するパンフレットにQRコードを載せるとか。

(萬谷委員)

- ・精神障害者を多く受け入れている就労継続支援B型事業所だと、月に1、2回しか利用しない利用者も平均工賃を計算する際の分母に含まれるため、利用者1人当たりの平均工賃が下がり、障害福祉サービス費の報酬が下がってしまう。一定の時間以下の施設利用者については、平均工賃の計算式から除外できるようにしてほしい。

(窪田委員)

- ・国の制度であるので、基準を確認して担当者からお知らせしたい。

## (3) 令和元年障害者雇用状況の集計結果について

(中野委員)

- ・本集計結果は、昨年12月に公表。
- ・県内企業の雇用障害者数、実雇用率は過去最高を更新。実雇用率は2年連続で全国平均を上回った。
- ・来年度中にさらに雇用率が0.1%引き上げられる予定。

### 【質疑等】

(佐藤あゆみ委員)

- ・多くの市町村で法定雇用率未達成であるが、行政機関は障害者就業・生活支援センターが支援に入りづらい部分がある。労働政策課では民間企業向けセミナーを頻繁に行っているが、市町村向けセミナーも行うことが必要ではないか。

(労働政策課)

- ・いただいた御意見については、検討させていただきたい。

(佐藤武志委員)

- ・長崎県では実雇用率が前年から大きく(0.17%)伸びているので、参考にできる部分がないかその取り組みを調査してほしい。

**(女屋委員)**

- ・ 障害福祉サービス事業所の工賃が低く、障害者の自立に結びついていないと感じる。何とかならないか。

**(窪田委員)**

- ・ 社会就労センター協議会や各事業所が農福連携など、より工賃の高い作業を請け負えるように努力しているが、特性により毎日通所できない利用者もいるなど、皆が高い工賃を受け取れるわけではない状況はある。今後も工賃向上に向けて努力していきたい。

**(4) 働く精神障害者支援連携会議について**

**(事務局)**

- ・ 前橋会場では定員を大きく超える64名の方に御参加いただき、盛況なイベントとなった。精神障害者の就労支援を行っている、伊勢崎市の大島病院に事例発表をしていただいた。
- ・ 太田会場では、精神障害者を4名雇用する企業が雇用事例を発表する予定。

**(真坂委員)**

- ・ 前橋会場に出席したが、企業は精神障害者にどう関わっていいか分からない様子だった。サンピエール病院から出席した他の職員が、ある企業に就職した方(気分障害)の特性をコンパクトにまとめた資料を当該企業に提供した事例について情報交換の際に話したところ、参考になったとの声を頂いた。

以 上